

オージックグループ(6168)

技術力のある中小製造企業を積極的M&Aによりグループ化、工作機械受注の回復により業績見通しは明るい
TOKYO PRO Market | 金属製品・金物 | 会社紹介

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG 6168:JP | REUTERS 6168.T

- 精密歯車製造を営むオージックを中心に、高い技術を有する中小製造企業をM&Aによりグループの傘下とすることで事業を多様化。
- 傘下の企業は独立採算の事業部制組織の下、オージックのブランド力を活かした経営効率化で、競争力ある製品・サービスを提供。
- 工作機械受注は内需・外需ともに前年同月比で大幅回復基調に転じたことから、業績回復に向けた先行き見通しは明るいと思われる。

What is the news?

同社グループは金属部品加工事業の単一セグメントだが、主力子会社で精密歯車（ギヤ）製造を営むオージックを中心に、高い技術を有する中小製造企業を積極的にM&Aによりグループの傘下とすることで事業が多様化され、独立採算色の強い事業部制組織の下にグループ経営が行われている。オージックが製造する超精密ギヤは100%ユーザーの設計に基づいて加工するフルオーダーメイドであるほか、歯車検査の標準機となるクリンゲルンベルグ社製の検査機による品質保証体制が実現できることなどから、国内外のメーカーから高い評価を得ている。

また、傘下のグループ企業は、オージックのブランド力を活かしてグループ主体の営業活動により、経営資源を製造技術に集中させて効率的に事業経営を行うことができる。それにより、同業大手ではコスト面などで手を出せないような特殊形状の部品や多品種少量生産・組立てといったユーザーの要望に応え、競争力のある製品・サービスの提供へと繋げている。同社グループのユーザーの属する業界は多岐にわたるなか、今後はロボット業界の基幹部品向け等が有望分野として注目されよう。

How do we view this?

2021/6期1H（7-12月）は、売上高が16.31億円、営業利益が▲3.14億円、経常利益が▲2.52億円。2020/6期は中間連結財務諸表を作成していないため前年同期比は非表示。また、2021/6通期会社計画は、売上高が前期比5.1%減の35.47億円、営業利益が前期の▲1.58億円から▲2.35億円へ赤字幅拡大、経常利益が同▲1.73億円から▲1.65億円へ赤字幅縮小。

2018年後半からの米中貿易摩擦による影響に続き、2020年3月頃からの新型コロナウイルス感染拡大を受けた厳しい移動制限を伴う経済活動の停滞により、工作機械受注が大幅に減少。日本工作機械工業会受注統計（前年同月比）によると、内需は2018年12月から2021年2月まで27ヵ月連続、外需は2018年10月から2020年8月まで23ヵ月連続でマイナスを記録。このような厳しい外部環境の下、通期では営業・経常赤字となる見通しである。一方で、感染拡大の落ち着きに加えて新型コロナワクチン接種普及を含む経済活動正常化の動きを受けて、外需が2020年10月以降、内需が2021年3月以降に2桁台のプラスに転じ、その後、伸び率を加速させている。業績回復に向けた先行きの見通しは明るいと言えよう。

業績推移

事業年度	2019/6	2020/6	2021/6F
売上高(百万円)	3,993	3,739	3,547
経常利益(百万円)	▲19	▲173	▲165
当期利益(百万円)	215	257	447
EPS(円)	165.53	197.83	344.47
PER(倍)	2.94	2.46	1.41
BPS(円)	557.69	790.75	-
PBR(倍)	0.87	0.61	-
配当(円)	-	6.00	-
配当利回り(%)	-	1.23	-

(※)2020/5/15付で普通株式20,000株を1株とする株式併合を実施。また、2020/12/10付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を実施。2019/6期の期首に当該株式併合および株式分割が行われたと仮定してEPS、BPS、DPS(配当)を算定している。
(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=会社予想)

配当予想(円) - (会社予想)
株価(円) 486 2021/6/30(基準値)

会社概要

1933年8月に田中栄蔵が中井歯切工業を創業。同社は1938年に松下電器産業(現パナソニック)の子会社である松下金属工業に吸収された後、戦後の松下電器産業の事業再編に伴い、1952年に田中栄蔵が10%を出資し、金属加工を目的とする大阪歯車工作所を設立。その後、同氏および関係者が徐々に持株比率を高め、1970年に松下電器産業から独立。1991年に社名をオージックに変更した。一方で、1976年にオージックと同じ住所地に精密歯車の販売を営む日本標準歯車販売を設立。その後、2019年にオージックグループに商号を変更後、2020年にオージックグループとオージックとの間の株式交換により、オージックを子会社化した。

オージックは、2013年に台湾で江陵有限公司(JLTA)を設立したほか、同年に精密機械加工・試作品製造のイセキテックの株式を取得。その後も、2016年に金属パイプ加工のセイエン、2017年に精密部品加工の鍛冶屋、2018年に精密微細加工の三翔精工、2019年に大型ねじ等製造の美原精工、および、2020年に難削材切削加工のフジタイトの株式を取得するなど、積極的な企業買収を展開。更に、2021年5月に鍛冶屋および美原精工を吸収合併した。

同社グループは金属部品加工事業の単一事業セグメントだが、「精密歯車製造および精密部品加工事業」、「金属パイプ加工事業」、「精密微細加工事業」、「大型ねじ等製造事業」、「難削材切削加工事業」、および、中国と台湾で同社グループ製品の販売代行を行う「その他事業」の6事業による独立採算色の強い事業部制組織に基づく経営を行っている。

2021/6/30にTOKYO PRO Marketに新規上場を果たした。

企業データ

主要株主(2021/5/27) (%)

1. 田中 文彦	48.40
2. 大阪中小企業投資育成株式会社	19.30
3. 田中 純子	6.90
4. 田中 汰樹	3.10

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

笹木 和弘

kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp
+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

1. 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2. 当社は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」(以下「特例」)第102条の規定に基づき、発行会社の担当J-Adviserに就任する旨の契約を締結いたしております。また、当社は、「特例」第135条に定める流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っています。